

世系に基づく差別撤廃のための国際シンポジウム

国連と市民社会の協力



2018年4月12日(木) 午後1時30分～4時
衆議院第一議員会館1F 国際会議室

世界で2億6千万人に影響を及ぼしている「世系」に基づく差別には、南アジアのカースト差別や日本の部落差別が含まれ、排除、不平等あるいは暴力を引き起こしています。地球規模のこの人権問題に対して市民社会と国連はどのようにとりくんでいるのか、異なる角度から議論します。

基調報告「国連での取り組み」：ミシェル・ブトー（国連人権高等弁務官事務所（OHCHR））

シンポジウム

リタ・イザック・ンジャエ
マイノリティの権利と差別撤廃
（前マイノリティ問題に関する国連特別報告者）

ポール・ディバカー
SDGsとマイノリティの権利
（アジア・ダリット権利フォーラム議長）

山崎鈴子
部落女性と複合差別
（部落解放同盟中央女性運動部長）

李 嘉永
部落差別撤廃と国際人権
（大阪歯科大学講師、IMADR 特別研究員）

モデレーター：熊本理抄（近畿大学、IMADR 特別研究員）

*英語/ 日本語同時通訳あり

■参加申込み：IMADR まで E-MAIL: event@imadr.org TEL: 03-6280-3101（締切4月5日）

主催：反差別国際運動（IMADR） 国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）
協力：部落解放同盟